

## 令和7年度 学校評価(児童生徒アンケート)

このアンケートは、私たちの学校を楽しく充実したものにするために行っています。それぞれの項目について当てはまるところに○印をつけて下さい。

A: そう思う B: ほぼそう思う C: そう思わない D: わからない

【小学部生徒】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校へ行くのは楽しいですか。	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2	授業はわかりやすいですか。	3	1	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3	友達と仲がよいですか。	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
4	学校ではいじめがないですか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
5	学校ではみんなが元気にあいさつをし、明るく楽しい雰囲気ですか。	2	1	0	0	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%
6	ともだちの言葉づかいはていねいですか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
7	先生の言葉づかいはていねいですか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
8	運動会やハート祭、遠足等の学校行事は楽しいですか。	4	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9	気軽に相談できる先生がいますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
10	先生は、わからないところをていねいに教えてくれますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
11	先生は、よくほめたりはげましてくれたりしますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
13	パソコンやアイパッド、スマホの学習は役に立つと思いますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
14	先生は、学校を卒業後のことや大人になったときのことをよく話してくれます	2	0	1	0	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%
15	授業をうけたことで「わかったこと」や「できること」がふえたと思いますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%
16	かじじしんとき 火事や地震の時、どうしたらいいかわかりますか。	3	0	0	0	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%

※学校へおねがいしたいことをかいてください。

○おはなししたい。

## 令和7年度 学校評価(児童生徒アンケート)

このアンケートは、私たちの学校を楽しく充実したものにするため行っています。  
それぞれの項目について当てはまるところに○印をつけて下さい。

A:そう思う B:ほぼそう思う C:そう思わない D:わからない

【中学部生徒】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校へ行くのは楽しいですか。	12	0	2	1	80.0%	0.0%	13.3%	6.7%	100.0%
2	授業はわかりやすいですか。	9	2	1	3	60.0%	13.3%	6.7%	20.0%	100.0%
3	友達と仲がよいですか。	12	2	0	1	80.0%	13.3%	0.0%	6.7%	100.0%
4	学校ではいじめがないですか。	11	0	1	3	73.3%	0.0%	6.7%	20.0%	100.0%
5	学校ではみんなが元気にあいさつをし、明るく楽しい雰囲気ですか。	12	1	1	1	80.0%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%
6	ともだちの言葉づかいはていねいですか。	9	2	2	2	60.0%	13.3%	13.3%	13.3%	100.0%
7	先生の言葉づかいはていねいですか。	10	3	0	2	66.7%	20.0%	0.0%	13.3%	100.0%
8	運動会やハッピーフェスティバル、遠足等の学校行事は楽しいですか。	10	1	2	2	66.7%	6.7%	13.3%	13.3%	100.0%
9	気軽に相談できる先生がいますか。	8	1	4	2	53.3%	6.7%	26.7%	13.3%	100.0%
10	先生は、わからないところをていねいに教えてくれますか。	10	3	0	2	66.7%	20.0%	0.0%	13.3%	100.0%
11	先生は、よくほめたりはげましてくれたりしますか。	13	2	0	0	86.7%	13.3%	0.0%	0.0%	100.0%
13	パソコンやアイパッド、スマートフォンの学習は役に立つと思いますか。	12	1	0	1	80.0%	6.7%	0.0%	6.7%	93.3%
14	せんせい 先生は、学校を卒業後のことや大人になったときのことをよく話してくれます	10	3	1	1	66.7%	20.0%	6.7%	6.7%	100.0%
15	じゅぎょう 授業をうけたことで「わかったこと」や「できること」がふえたと思いますか。	11	4	0	0	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	100.0%
16	かじ 火事や地震の時、どうしたらいいかわかりますか。	14	1	0	0	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%

\*学校へおねがいしたいことを書いてください。

- ①ありがとうございます
- ②ひとりいじめがおおい
- ③じをかくじゆぎょうがふえてほしい

## 令和7年度 学校評価(児童生徒アンケート)

このアンケートは、私たちの学校を楽しく充実したものにするために行っています。それぞれの項目について当てはまるところに○印をつけて下さい。

A: そう思う B: ほぼそう思う C: そう思わない D: わからない

【高等部生徒】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校へ行くのは楽しいですか。	12	2	7	1	54.5%	9.1%	31.8%	4.5%	100.0%
2	授業はわかりやすいですか。	13	9	0	0	59.1%	40.9%	0.0%	0.0%	100.0%
3	友達と仲がよいですか。	13	6	1	2	59.1%	27.3%	4.5%	9.1%	100.0%
4	学校ではいじめがないですか。	12	4	2	4	54.5%	18.2%	9.1%	18.2%	100.0%
5	学校ではみんなが元気にあいさつをし、明るく楽しい雰囲気ですか。	13	5	1	3	59.1%	22.7%	4.5%	13.6%	100.0%
6	ともだちの言葉づかいはていねいですか。	11	4	4	3	50.0%	18.2%	18.2%	13.6%	100.0%
7	先生の言葉づかいはていねいですか。	13	8	0	1	59.1%	36.4%	0.0%	4.5%	100.0%
8	運動会やハート祭、遠足等の学校行事は楽しいですか。	16	2	4	0	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%	100.0%
9	気軽に相談できる先生がいますか。	14	5	2	1	63.6%	22.7%	9.1%	4.5%	100.0%
10	先生は、わからないところをていねいに教えてくれますか。	18	3	0	1	81.8%	13.6%	0.0%	4.5%	100.0%
11	先生は、よくほめたりはげましてくれたりしますか。	15	4	1	2	68.2%	18.2%	4.5%	9.1%	100.0%
13	パソコンやアイパット、スマホの学習は役に立つと思いますか。	18	4	0	0	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%
14	先生は、学校を卒業後のことや大人になったときのことをよく話してくれます	16	3	1	2	72.7%	13.6%	4.5%	9.1%	100.0%
15	授業をうけたことで「わかったこと」や「できること」がふえたと思いますか。	15	5	1	1	68.2%	22.7%	4.5%	4.5%	100.0%
16	かじりじしんとき 火事や地震の時、どうしたらいいかわかりますか。	19	2	0	1	86.4%	9.1%	0.0%	4.5%	100.0%

※学校へおねがいしたいことを書いてください。

○休み時間を増やしてほしい。他学部との交流を増やしてほしい。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 令和7年度 学校評価(保護者アンケート)

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。  
それぞれの項目についてA~Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からぬことについては  
解答しなくてもかまいません。

A: そう思う    B: ほぼそう思う    C:あまりそう思わない    D: そう思わない

### 【幼小学部保護者】

	評価項目	A	B	C	D	A				B				C				D				合計
						A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
1	学校は保護者と共に個別の教育支援計画を作成し、幼児児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じた教育を行っている。	13	0	0	1	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%												
2	学校は保育授業参観や学校行事、ホームページ等を通して学校の教育活動内容の発信に努めている。	8	4	2	0	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	100.0%												
3	学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうよう努力している。	12	1	0	1	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	100.0%												
4	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	13	1	0	0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%												
5	担任は幼児児童生徒の実態をよく理解している。	13	0	0	1	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%												
6	幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えている。	13	0	1	0	92.9%	0.0%	7.1%	0.0%	100.0%												
7	学校は進路について適切な指導を行っている。	8	3	1	0	57.1%	21.4%	7.1%	0.0%	85.7%												
8	学校は幼児児童生徒や保護者の相談等に適切に対応している。	13	0	0	1	92.9%	0.0%	0.0%	7.1%	100.0%												
9	学校はいじめや不登校の防止・対応をしている。 ※いじめ(防止基本方針の制定(学校HP参照)	8	1	1	1	57.1%	7.1%	7.1%	7.1%	78.6%												

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。(裏面もご利用になれます)

### 【保護者より】

- ①日頃より生徒一人ひとりに寄り添った丁寧なご対応をして頂き心より感謝しております。子供も学校が大好きで、毎日楽しく登校で  
きており大変ありがとうございます。一点だけ改善をお願いしたい点として、学校より登録の案内があった「マチコミ」アプリについて  
て申しあげます。現在、ほとんど使用されていないようで、十分に機能していない印象があります。  
文書等をアプリから配信していただけると見落としも防げ大変助かります。今後の運用についてご検討頂けますと幸いです。
- ②子供の特性にとても寄り添ってくれて安心して通わせています。家族のことも気にかけて いただき、悩み事等もすぐに解決  
に導いてくれて助かっています。相談しやすい環境にあると思います。
- ③いつも丁寧な関わり、指導をありがとうございます。
- ④いつも丁寧に対応して頂き感謝しています。ありがとうございます。
- ⑤学校行事などHPではなく公式ライン?などで情報発信してくれるとより分かりやすい。
- ⑥これまでお願いしていた件について、こちらから問い合わせをしなければ進捗や方針が共有されない状況が続いています。必要  
な情報が適切なタイミングで届けられないことは、家庭側として状況把握や判断ができず大変困っています。「時期が来たら相談し  
ます」との回答だけでは、何が動いているのか、どのような計画があるのか判断材料が何一つ得られません。  
このままでは学校側の対応方針も意図も見えず信頼関係の構築が難しいと感じています。また、教室内での炊飯や飲食を行うこ  
とに對し法令遵守として強い注意を受けましたが、他のクラスでは同様の行為が行われていたと聞いています。学校としての基  
準や扱いに一貫性がないことは、非常に問題であり、指導の正当性にも疑問を感じています。  
もし、食育等の目的で実施可能な活動であるならば参加の選択や配慮について検討頂ける余地があったのではないかとも感じ  
ています。学校と家庭が同じ方向を向いて連携していくためにも、情報共有やルールの運用について統一性と透明性を持たせて頂き  
たいです。こちらとしても過度な要求をしているつもりはなく、必要なことを必要なタイミングで知りたいだけです。今後、より良い形で  
コミュニケーションができる事を願っております。

## 令和7年度 学校評価(保護者アンケート)

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。  
それぞれの項目についてA~Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からぬことについては  
解答しなくてもかまいません。

A:そう思う B:ほぼそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

### 【中学部保護者】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校は保護者と共に個別の教育支援計画を作成し、幼児児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じた教育を行っている。	12	1	0	1	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	100.0%
2	学校は保育授業参観や学校行事、ホームページ等を通して学校の教育活動内容の発信に努めている。	7	6	1	0	50.0%	42.9%	7.1%	0.0%	100.0%
3	学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうよう努力している。	11	3	0	0	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
4	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	13	1	0	0	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
5	担任は幼児児童生徒の実態をよく理解している。	12	1	1	0	85.7%	7.1%	7.1%	0.0%	100.0%
6	幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えている。	11	3	0	0	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
7	学校は進路について適切な指導を行っている。	9	3	2	0	64.3%	21.4%	14.3%	0.0%	100.0%
8	学校は幼児児童生徒や保護者の相談等に適切に対応している。	10	4	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
9	学校はいじめや不登校の防止・対応をしている。 ※いじめ(防止基本方針の制定(学校HP参照)	9	4	0	0	64.3%	28.6%	0.0%	0.0%	92.9%

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。(裏面もご利用になれます)

### 【保護者より】

- ①マチコミをもっと活用してほしいと思う。せっかく良いツールがあるので、欠席連絡をホームページからではなくマチコミからできればいいのにな思います。もったいないです。石垣市の中学校が行っているtetoruですが、先生方の中にも使っていらっしゃる方も居ると思います。シンプルで使いやすいです。県立と市立て不可能なのかもしれないですが、石垣市内在住であれば引き続きtetoruを使えたら便利だと思うしほかの兄弟と同じアプリで管理できたらありがたいです。今、いろいろな習い事や学校etc.、ほとんどがアプリかLineグループで連絡しあえて便利ですが、次々にスマホにアプリが増えていくって、もっとシンプルに島内であれば県立・市立関係なくコンパクトにお願いしたいです。
- ②日々の手厚いサポートありがとうございます。「学校は楽しい」と毎日登校する姿に家族で喜んでいます。
- ③もっと「マチコミ」を積極的に利用してほしい。

## 令和7年度 学校評価(保護者アンケート)

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。  
それぞれの項目についてA～Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からぬことについては  
解答しなくてもかまいません。

A:そう思う B:ほぼそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

### 【高等部保護者】

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D	合計
1	学校は保護者と共に個別の教育支援計画を作成し、幼児児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じた教育を行っている。	12	3	1	0	75.0%	18.8%	6.3%	0.0%	100.0%
2	学校は保育授業参観や学校行事、ホームページ等を通して学校の教育活動内容の発信に努めている。	10	5	0	0	62.5%	31.3%	0.0%	0.0%	93.8%
3	学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうよう努力している。	13	3	0	0	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%
4	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	13	3	0	0	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%
5	担任は幼児児童生徒の実態をよく理解している。	12	4	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
6	幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えている。	11	5	0	0	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	100.0%
7	学校は進路について適切な指導を行っている。	12	4	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
8	学校は幼児児童生徒や保護者の相談等に適切に対応している。	12	4	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
9	学校はいじめや不登校の防止・対応をしている。 ※いじめ(防止基本方針の制定(学校HP参照)	11	2	0	0	68.8%	12.5%	0.0%	0.0%	81.3%

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。(裏面もご利用になれます)

### 【保護者より】

①石垣島まつりでの出店を復活してほしいです。支援学校と社会をつなげる素敵な行事だったので入学前からずっと出店側になることを楽しみにしていました。

②学校生活を通して色々な経験をさせて頂いて感謝しています。

③入学して今までハヶ月になろうとしていますが、入学した頃とは驚くほど心身ともに、あらゆる面での進歩が見られます。人前では自ら意見を述べる事は全く無でしたが少しずつではありますが良くなっています。何依も以前より随分と明るく自ら進んで学校へ行くし、家の手伝いなどしてくれます。先生方の優しいあらゆる分野での専門でご指導のおかけ様でよく育んで下さり感謝致しております。これからも宜しく安心してお願い致します。八重山特別支援学校の評価はパーエクトだと思います。

④年間行事予定、一度に年間が見られるのはありがたいのですが、紙でいただくとどうしても小さく見づらい(歳を重ねると余計に見づらく)。大きくしていただけるか毎月で発行してもらえると嬉しい。2～3年…毎年、先生方の顔も変化、集合写真も各部(学年)で1枚の様にしてくださ～い♥子供が「〇〇先生」と教えてくれると広がりますが、言わずの我が子だと寂しい●ので

## 令和7年度 学校評価(入舎生保護者アンケート)

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。  
それぞれの項目についてA~Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からぬことについては解答しなくてもかまいません。

A: そう思う B: ほぼそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

	評価項目	A	B	C	D	A	B	C	D
1	寄宿舎では、子どもの基本的生活習慣の確立や個々の自立に向けて適切な指導が行われている。	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	寄宿舎は、寄宿舎参観や寄宿舎通信、ホームページなどで寄宿舎の情報を発信することに努めている。	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
3	寄宿舎は、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行うよう努力している。	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	係、日直活動(など)が適切に設定され、舎生が主体的に取り組んでいる。	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
5	舎生は、舎生活を楽しんでいる。	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
6	寄宿舎の職員は、舎生の実態をよく理解し、(親身になって接)している。	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7	災害時の舎生の安全の確保のために、訓練や指導がしっかりと行われている。	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	寄宿舎の職員は、舎生や保護者の相談等に、適切に対応している。	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。（裏面もご利用になります）

○いつもサポートありがとうございます。

○人間、生きていく為に必要な教養と学問道徳心など、身につけていなければ世渡りできないと思っております。入学してから早や  
2学期が終わろうとしておりますが、教育のあらゆる面で明らかに心身共に変化が見え、さすが専門の先生達の御指導で目覚まし  
く変わっているので心より感謝いたしております。去った11月14日ふれあい夕食会後の寄宿舎内の見学をしましたが、お掃  
除が行き届いていてぴかぴかでした。又は自主性を身につける為に役割分担をして植物の成長の水やり、毎日見守っている様子  
など。毎月の食の献立表やみらい通信、学習会など細部にわたっての指導、本当に有りがたく思っておりパーカーフェクトです。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

【幼小学部】		令和7年度学校評価 自己評価【小学部】( A当てはまる Bある程度当てはまる Cあまり当てはまらない D当てはまらない )	A	B	C	D	A	B	C	D
重点目標	具 体 的 方 策									
1 教育目標	全職員が一丸協力して教育目標の具現達成に努める	①学校教育目標、学部教育目標の達成を目指して日頃の教育実践を展開している。	6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%
2 教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①児童生徒の実態を考慮して適切に教育課程を編成している。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
3 指導の充実	個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別移行支援計画の作成と指導実践	①児童生徒の実態や学習経験等を考慮し、適切に年間指導計画（シラバス）を作成している。 ②保護者と連携し、教育的ニーズを反映した個別の教育支援計画、個別の指導計画、移行支援計画を作成し、活用している。 ③分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、主体的・対話的で深い学びなどの授業改善に取り組んでいる ④特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標に、教育的ニーズに対応した自立活動の指導を行っている。 ⑤PDCAを意識した授業実践に取り組んでいる ⑥情報機器を適切に活用した指導を行っている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
4 総合的な学習・探求	学校・地域の特色を生かし総合的な学習・探求の充実を図る	①児童生徒会（あおぞら会）活動が児童生徒の実態に即しており、充実している。 ②学校・地域の特性を生かすと同時に、児童生徒が自らの課題を解決できるように工夫し教育実践を行っている。	33	3	8	1	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%
5 特別活動	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	①児童生徒会（あおぞら会）活動が児童生徒の実態に即しており、充実している。 ②各行事のねらいが効率的・効果的に達成されるよう、活動内容の共通理解が図られ、実施されている。	6	6	0	1	46.2%	46.2%	0.0%	7.7%
6 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけさせると共に好ましい人間関係を確立する	①家庭や関係機関と連携して、児童生徒の指導を実践している。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
7 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から取り組んでいる ②養護教諭と連携し、児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。 ③児童生徒の安全を守るために各訓練（不審者、避難訓練等）、安全点検を適切に行っている。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
8 進路指導	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	①卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業・施設見学会が適切に実施されている。 ②進路の情報が保護者や職員間に適切に共有されている。	4	5	2	2	30.8%	38.5%	15.4%	15.4%
9 キャリア教育	「学ぶこと」「働くこと」に關連付ける「生きること」や「社会的自立・職業的自立」に向けた教育と捉え、充実を図る	①学校や児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリアアシニング・マトリックスを活かすなど、「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。 ②キャリアパスポートを活用し児童生徒が自信の変容や成長を自己評価できるように取り組んでいる。	3	7	3	0	23.1%	53.8%	23.1%	0.0%
10 社会に開かれた教育課程	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	①学校（居住地校を含む）や地域と連携し、計画的に交流及び共同学習や地域との交流活動を実践している。 ②学校は、社会に開かれた教育課程・教育活動を展開している。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
11 研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	7	5	0	0	53.8%	38.5%	0.0%	0.0%
12 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①緑化事業計画を基に環境整備、美化活動に取り組んでいる。	8	4	0	1	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%
13 家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携（子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等）が図られている。 ②関係機関との連携（ケース会議、情報交換等）が図られている。	8	4	0	1	61.5%	30.8%	0.0%	7.7%
14 職員連携	職員相互の連携と健全な職場環境の構築	①同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。 ②個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている。 ③一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている。 ④より専門性を發揮するための研修や教材研究が充実している。 ⑤心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
15 いじめ・人権	人権侵害防止の取り組み	①日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。 ②児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけていく。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
16 その他	業務改善	①授業で用いるプリントなどの教材の共有を図ったり、各種校務の効率化を進めたりするなど、業務改善に取り組んでいる	7	4	2	0	53.8%	30.8%	15.4%	0.0%

【中学校職員】		令和7年度学校評価 自己評価【各学部】	( A当てはまる Bある程度当てはまる Cあまり当てはまらない D当てはまらない )							
重点目標		具 体 的 方 策	A	B	C	D	A	B	C	D
1 教育目標	全職員が一丸協力して教育目標の具現達成に努める	①学校教育目標、学部教育目標の達成を目指して日頃の教育実践を展開している。	5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
2 教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①幼稚児童生徒の実態を考慮して適切に教育課程を編成している。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
3 指導の充実	個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別移行支援計画の作成と指導実践	①幼稚児童生徒の実態や学習経験等を考慮し、適切に年間指導計画（シラバス）を作成している。	5	7	1	0	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
		②保護者と連携し、教育的ニーズを反映した個別の教育支援計画、個別の指導計画、移行支援計画を作成し、活用している。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
		③分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、主体的・対話的で深い学びなどの授業改善に取り組んでいる	6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%
		④特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標に、教育的ニーズに対応した自立活動の指導を行っている。	5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
		⑤PDCAを意識した授業実践に取り組んでいる	3	10	0	0	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%
		⑥情報機器を適切に活用した指導を行っている。	3	7	3	0	23.1%	53.8%	23.1%	0.0%
4 総合的な学習・探求	学校・地域の特色を生かし総合的な学習・探求の充実を図る	①児童生徒の実態にあった目標、指導内容になっている。	5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
②学校・地域の特性を生かすと同時に、児童生徒が自らの課題を解決できるように工夫し教育実践を行っている。	6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%		
5 特別活動	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	①幼稚児童生徒会（あおぞら会）活動が幼稚児童生徒の実態に即しており、充実している。	6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%
②各行事のねらいが効率的・効果的に達成されるよう、活動内容の共通理解が図られ、実施されている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%		
6 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけさせると共に好ましい人間関係を確立する	①家庭や関係機関と連携して、幼稚児童生徒の指導を実践している。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
7 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①幼稚児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から取り組んでいる	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
		②養護教諭と連携し、幼稚児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
		③幼稚児童生徒の安全を守るために各訓練（不審者、避難訓練等）、安全点検を適切に行っている。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
8 進路指導	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	①卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業・施設見学会が適切に実施されている。	5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
		②進路の情報が保護者や職員間に適切に共有されている。	4	8	1	0	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%
9 キャリア教育	「学ぶこと」「働くこと」に關連付ながら「生きること」や「社会的自立・職業的自立」に向けた教育と捉え、充実を図る	①学校や幼稚児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリアアシニング・マトリックスを活かすなど、「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。	5	7	1	0	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
		②キャリアパスポートを活用し児童生徒が自信の変容や成長を自己評価できるように取り組んでいる。]	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
10 社会に開かれた教育課程	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	①学校（居住地校を含む）や地域と連携し、計画的に交流及び共同学習や地域との交流活動を実践している。	10	2	1	0	76.9%	15.4%	7.7%	0.0%
		②学校は、社会に開かれた教育課程・教育活動を展開している。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
11 研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	6	6	1	0	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%
12 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①緑化事業計画を基に環境整備、美化活動に取り組んでいる。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
13 家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携（子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等）が図られている。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
		②関係機関との連携（ケース会議、情報交換等）が図られている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
14 職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
		②個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
		③一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
		④より専門性を發揮するための研修や教材研究が充実している。	5	7	1	0	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
		⑤心身の健康の確保と安全。快適な職場環境の形成ができている。	8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
15 いじめ・人権	人権侵害防止の取り組み	①日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
		②児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけていく。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
16 その他	業務改善	①授業で用いるプリントなどの教材の共有を図ったり、各種校務の効率化を進めたりするなど、業務改善に取り組んでいる	7	5	1	0	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%

【高等部職員】		令和7年度学校評価 自己評価【高等部】( A当てはまる Bある程度当てはまる Cあまり当てはまらない D当てはまらない )	A	B	C	D	A	B	C	D
重点目標	具 体 的 方 策									
1 教育目標	全職員が一丸協力して教育目標の具現達成に努める	①学校教育目標、学部教育目標の達成を目指して日頃の教育実践を展開している。	14	7	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
2 教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①幼稚児童生徒の実態を考慮して適切に教育課程を編成している。	12	6	2	0	57.1%	28.6%	9.5%	0.0%
3 指導の充実	個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別移行支援計画の作成と指導実践	①幼稚児童生徒の実態や学習経験等を考慮し、適切に年間指導計画（シラバス）を作成している。	9	11	1	0	42.9%	52.4%	4.8%	0.0%
		②保護者と連携し、教育的ニーズを反映した個別の教育支援計画、個別の指導計画、移行支援計画を作成し、活用している。	15	4	2	0	71.4%	19.0%	9.5%	0.0%
		③分かりやすい授業の創意工夫を図るとともに、主体的・対話的で深い学びなどの授業改善に取り組んでいる	14	7	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
		④特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標に、教育的ニーズに対応した自立活動の指導を行っている。	11	9	1	0	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%
		⑤PDCAを意識した授業実践に取り組んでいる	9	10	2	0	42.9%	47.6%	9.5%	0.0%
		⑥情報機器を適切に活用した指導を行っている。	14	6	1	0	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%
4 総合的な学習・探求		⑦児童生徒の実態にあった目標、指導内容になっている。	12	7	2	0	57.1%	33.3%	9.5%	0.0%
		⑧学校・地域の特性を生かすと同時に、児童生徒が自らの課題を解決できるように工夫し教育実践を行っている。	9	10	2	0	42.9%	47.6%	9.5%	0.0%
5 特別活動	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	①幼稚児童生徒会（あおぞら会）活動が幼稚児童生徒の実態に即しており、充実している。	11	9	1	0	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%
		②各行事のねらいが効率的・効果的に達成されるよう、活動内容の共通理解が図られ、実施されている。	10	11	0	0	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
6 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけさせると共に好ましい人間関係を確立する	①家庭や関係機関と連携して、幼稚児童生徒の指導を実践している。	16	4	1	0	76.2%	19.0%	4.8%	0.0%
7 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①幼稚児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から取り組んでいる	14	6	1	0	66.7%	28.6%	4.8%	0.0%
		②養護教諭と連携し、幼稚児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。	18	3	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
		③幼稚児童生徒の安全を守るために各訓練（不審者、避難訓練等）、安全点検を適切に行っている。	18	3	0	0	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
8 進路指導	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	①卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業・施設見学会が適切に実施されている。	15	6	0	0	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
		②進路の情報が保護者や職員間に適切に共有されている。	13	8	0	0	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
9 キャリア教育	「学ぶこと」「働くこと」に關連付ながら「生きること」や「社会的自立・職業的自立」に向けた教育と捉え、充実を図る	①学校や幼稚児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリアアシニング・マトリックスを活かすなど、「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。	7	13	1	0	33.3%	61.9%	4.8%	0.0%
		②キャリアパスポートを活用し児童生徒が自信の変容や成長を自己評価できるように取り組んでいる。	4	14	3	0	19.0%	66.7%	14.3%	0.0%
10 社会に開かれた教育課程	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	①学校（居住地校を含む）や地域と連携し、計画的に交流及び共同学習や地域との交流活動を実践している。	14	4	3	0	66.7%	19.0%	14.3%	0.0%
		②学校は、社会に開かれた教育課程・教育活動を展開している。	10	11	0	0	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
11 研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	11	10	0	0	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%
12 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①緑化事業計画を基に環境整備、美化活動に取り組んでいる。	16	5	0	0	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%
13 家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携（子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等）が図られている。	16	5	0	0	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%
		②関係機関との連携（ケース会議、情報交換等）が図られている。	15	5	0	0	71.4%	23.8%	0.0%	0.0%
14 職員連携	職員相互の連携と健全な職場環境の構築	①同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	12	8	1	0	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%
		②個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができている。	8	10	3	0	38.1%	47.6%	14.3%	0.0%
		③一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている。	12	9	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
		④より専門性を發揮するための研修や教材研究が充実している。	11	10	0	0	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%
		⑤心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	10	10	1	0	47.6%	47.6%	4.8%	0.0%
15 いじめ・人権	人権侵害防止の取り組み	①日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	12	9	0	0	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
		②児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。	13	8	0	0	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
16 その他	業務改善	①授業で用いるプリントなどの教材の共有を図ったり、各種校務の効率化を進めたりするなど、業務改善に取り組んでいる	13	8	0	0	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%

## 令和7年度 学校評価 自己評価（寄宿舎）

A当てはまる Bほぼ当てはまる Cあまり当てはまらない D当てはまらない

重点目標		具体的方策	A	B	C	D	A	B	C	D
指導目標	1 寄宿舎運営の指導目標の設定意義と手順	職員全員が指導目標を理解し、達成に向けて相互の協力体制を図っている。	11	2	0	0	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
舍生への指導	2 基本的生活習慣を育む指導	舍生の実態に即した基本的生活習慣を身につけることができる日課が設定されている。	12	1	0	0	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%
	3 年間行事計画の設定	舍生の自主性、社会性を育む行事が年間を通して適切に設定されている。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	4 個別の生活指導計画の設定	舍生の発達段階に応じた課題を捉え、個々の生活目標に沿った指導を行っている。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
	5 いじめ防止	日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	11	2	0	0	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
	6 人権意識の育成	児童生徒および教職員の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。	11	2	0	0	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
		生徒の人権意識の育成を図るような取り組みを行っている。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
舍生の活動	7 自治活動の充実	各係の活動・日直活動などが適切に設定され、主体的に舍生が取り組んでいる。	8	3	1	0	61.5%	23.1%	7.7%	0.0%
	8 余暇活動の充実	舍生の実態に合わせて活動内容が設定されている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
保健安全舍食	9 舎生の健康管理	日常生活において常に健康、安全に心掛ける習慣や行動ができるように指導している。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10 緊急時の対応	緊急時(舍生の病気、事故、不審者対策)の体制は整備されている。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11 災害時の対応	災害時(火災、地震、津波)の体制は整備されている。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	12 舎食の充実	委託業者と連携を取り、適切な舍食が実施されている。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13 安全点検の徹底	舍内外の危険箇所の発見に努め、安全な環境作りをおこなっている。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14 家庭・学級担任等との連携	指導目標達成のため、家庭・学級担任・関係部署、関係機関と連携するよう努力している。	11	2	0	0	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%
連携	15 寄宿舎主任との連携	寄宿舎主任との連携を密にし、学校と寄宿舎の連携が取れている。	13	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16 舎監との連携	舎監と連携し、舍生の日頃の指導体制を確立している。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
	17 職員相互の連携、健全な職場環境の構築	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
		個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
		一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
		より専門性を發揮するための研修や教材研究が充実している。	6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%
		心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができる。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
		報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。	9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
研究研修	18 実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	危機管理において全職員が連携しさ(最悪を考え)し(慎重に)す(速やかに)せ(誠意をもって)そ(組織的に)対応している。	10	3	0	0	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
		教材・教具や備品が適切に管理され、活用されている。	7	6	0	0	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%
		資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	5	7	1	0	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%

【事務・現業】		令和7年度学校評価 自己評価 【養護・栄養・司書・事務・現業】 ( A当てはまる Bほぼ当てはまる Cあまり当てはまらない D当てはまらない )											
重点目標		具体的方策				A	B	C	D	A	B	C	D
1 教育目標	全職員が一致協力して教育目標の具現達成に努める	①教育目標達成に向けて意欲的に取り組んでいる。		6	6	1	0	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%		
2 人権	人権侵害防止の取り組み	①児童生徒の人権を侵害するような言動にならないように気をつけている。		8	5	0	0	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%		
3 業務の遂行	適切な業務の遂行	①適切な手続きを経て予算執行、会計業務が行われている。		5	7	0	1	38.5%	53.8%	0.0%	7.7%		
		②物品の管理は適切に行われている。		5	8	0	0	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%		
4 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①幼児児童生徒にとって安全な学習環境が提供できるよう日頃から環境整備に取り組んでいる。		9	4	0	0	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%		
5 関係機関との連携	各部署、保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関との連携	①必要に応じて関係部署との連携(ケース会議、情報交換等)が図られている。		6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%		
6 職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。		5	7	1	0	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%		
		②個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。		3	7	3	0	23.1%	53.8%	23.1%	0.0%		
		③一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができている。		3	10	0	0	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%		
		④より専門性を発揮するための研修や教材研究が充実している。		3	9	1	0	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%		
		⑤心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。		1	10	2	0	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%		
		⑥報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。		2	10	1	0	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%		
		⑦勤務上の課題や悩み等に関して相談し合える職場環境になっている		4	8	1	0	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%		
7 危機管理	危機管理体制の整備	①幼児児童生徒の安全を守るため、緊急時(火災、地震、津波、事故、不審者)の体制は整備されている。		6	7	0	0	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%		

## 児童生徒・保護者からの意見・要望等への回答

### 児童・生徒から学校へのお願い

#### ・小学部

- ① おはなししたい

#### 【回答】

- ① せんせいたちも、そしてまわりのおともだちも、みなさんとたくさんおはなししたいとおもっています。もっともっとおはなしができるよう、やすみじかんやおひるやすみにたくさんこうりゅうができるようにしていきます。みなさんもやすみじかんやおひるやすみにどんどんともだちやせんせいにおはなししてみてくださいね。

#### ・中学部

- ① ひとりいじめがおおい
- ② じをかくじゅぎょうがふえてほしい

#### 【回答】

- ① 嫌なことされたり言われたりしたら、その気持ちを相手に伝えること、そして必ず先生達につたえましょう。話してくれてありがとう。解決に向けて早急に対処致します。
- ② ワークシートに書いたりする授業もあったり、iPad をつかった授業もあるので、字を書く授業があるときにはたくさん字を書いて、たくさん学んでいきましょう。

### 保護者からの要望・意見等

#### ・小学部

- ① 学校より登録の案内があった「マチコミ」アプリについて申しあげます。現在、ほとんど使用されていないようで、十分に機能していない印象があります。文書等をアプリから配信していただけると見落としも防げて大変助かります。今後の運用についてご検討頂けますと幸いです。
- ② 学校行事などHPではなく公式ライン?などで情報発信してくれるとより分かりやすい。
- ③ これまでお願いしていた件について、こちらから問い合わせをしなければ進捗や方針が共有されない状況が続いています。必要な情報が適切なタイミングで届けられないことは、家庭側として状況把握や判断ができず大変困っています。「時期が来たら相談します」との回答だけでは、何が動いているのか、どのような計画があるのか判断材料が何一つ得られません。のままでは学校側の対応方針も意図も見えず信頼関係の構築が難しいと感じています。また、教室での炊飯や飲食を行うことに対し法令遵守として強い注意を受けましたが、他のクラスでは同様の行為が行われていたと聞いています。学校としての基準や扱いに一貫性がないことは、非常に問題であり、指導の正当性にも疑問を感じています。もし、食育等の目的で実施可能な活動であるならば参加の選択や配慮について検討頂ける余地があったのではないかとも感じています。学校と家庭が同じ方向を向いて連携していくためにも、情報共有やルールの運用について統一性と透明性を持たせて頂きたいです。こちらとしても過度な要求をしているつもりはなく、必要なことを必要なタイミングで知りたいだけです。今後、より良い形でコミュニケーションができることを願っております。

#### 【回答】

- ① 「マチコミ」につきましては、充分に活用されていませんでした。この反省を踏まえ次年度は各学部の様々な行事等、迅速に保護者にお伝えできるよう努めて参ります。

- ② 沖縄県では「LINE」を使用しない事を決めており、本校では今年度より「マチコミ」を使用することと決めましたのでご了承ください。
- ③ 保護者からの意見や要望に対しては面談等を通して共通理解を図り、連携していくことを心がけます。

#### ・中学部

- ① マチコミをもっと活用してほしいと思う。せっかく良いツールがあるので、欠席連絡をホームページからではなくマチコミからできればいいのになと思います。もったいないです。石垣市の小中学校が行っている totoru ですが、先生方の中にも使っていらっしゃる方も居ると思います。シンプルで使いやすいです。県立と市立で不可能なのかもしれないですが、石垣市内在住であれば引き続き totoru を使えたら便利だと思うしほかの兄弟と同じアプリで管理できたらありがたいです。今、いろいろな習い事や学校 etc.、ほとんどがアプリか Line グループで連絡しあえて便利ですが、次々にスマホにアプリが増えていって、もっとシンプルに島内であれば県立・市立関係なくコンパクトにお願いしたいです。
- ② もっと「マチコミ」を積極的に利用してほしい。

#### 【回答】

- ① 石垣市立小中学校が使用している「totoru」は、その使用料を石垣市が負担しております。県立学校ではその使用料の予算が確保されておりませんので使用することができません。
- ② 次年度は各学部の様々な行事等、迅速に保護者にお伝えできるよう努めて参ります。

③

#### ・高等部

- ① 石垣島まつりでの出店を復活してほしいです。支援学校と社会をつなげる素敵な行事だったので入学前からずっと出店側になることを楽しみにしていました。
- ② 年間行事予定、一度に年間が見られるのはありがたいのですが、紙でいただくとどうしても小さく見づらい(歳を重ねると余計に見づらく)。大きくしていただけるか毎月で発行してもらえると嬉しい。2~3年・・・毎年、先生方の顔も変化、集合写真も各部(学年)で1枚の様にしてください。子供が「○○先生」と教えてくれると広がりますが、言わずの我が子だと寂しいので。

#### 【回答】

- ① ご意見ありがとうございます。高等部としては石垣島まつりでの出店を復活させるのではなく、販売会の充実を図りたいと考えています。先週、販売会を終えたばかりなので反響、反省等を集約して次年に繋げていきたいです。石垣島まつり出店が難しくなった経緯と販売会にして改善された点、今後の方向性を記します。

石垣島まつり出店が難しくなった経緯 (R4 資料より)

石垣島まつり担当団体が商工会から市役所商工振興課へ変わったこと等で、以下のような大きな環境変化があった。

- ①特に重度重複障害の生徒の健康・安全確保が困難となった。…令和元年度参加時には使えていた「福祉ブース」隣接の「IT 支援センター」会議室・トイレなどが確保できなくなった。よって悪天候時などの安全確保が困難となった。また車イスの生徒は人込みの中を片道 200m以上移動して市民会館のトイレまで移動するか、アスファルト上でマットを敷いて横にするなどの対応が必要であった。
- ②販売時間変更により、実際の接客・販売活動が大幅に縮小した(まつり二日目のみ 3 時間)。…上記同様、開催方針の変更により「前日準備が不可」「販売開始は午後 1 時から」となったことにより、令和元年度以前の「前日金曜に販売会場を準備し、まつり一日目・二日目それぞれ午前・午後販売活

動」という密度の高い内容が期待できなくなつた。実際、令和4年度まつり一日目の土曜日は会場設営等のため、販売活動をおこなつていなかつた。

R4 資料からは「健康・安全の確保の面で不安」「時間的自由度の制約」から出店取りやめを判断しました。その他以下に挙げる3点程の要因もありました。

- ・行事の精選：三大行事、石垣島まつり、特体連等、2学期に立て続けて行事があり、事前学習や準備に追われていた。
- ・時間的課題：早朝からの長時間拘束の課題。
- ・教育課程の変遷：職業実習が10単位から6単位になり、生産量が減る。

販売会にして改善された点

- ・生徒主体の企画運営
- ・生徒の安全確保（排泄、衛生、食事等を含む）
- ・開かれた学校として社会参画
- ・学校で開催することで保護者も参加しやすい、卒業生や事業所の方々の来校によるつながりが生まれた。
- ・今年度はさんきん広場への出店も計画中です。
- ・小中学部との交流機会の創出とキャリア教育

② ご意見ありがとうございます。年間行事のサイズについては、R8年度よりB4からA3に拡大いたします。また、月ごとの行事予定表については、今年度の1月からマチコミメールにて配信していくたいと思います。

また、顔写真につきましては年度初めに「八特新聞」にて、全学部・部署の集合写真及び名前が記載されています。そちらでのご確認をお願いできたらと思います。